

第4 2回全国高等学校体操競技選抜大会参加資格者一覧表（男子）

令和7年9月4日 現在

1班（午前に競技）					
No.	選手名	学年	都道府県	学校名	解説
1			京都		※No.1～No.8は、No.51～60に続く8名。 手順② 1・2年生を上位（No.51）から並べ、下位に3年生を並び替える。
2			三重		
3			京都		
4			岐阜		
5			栃木		
6			埼玉		
7			岡山		
8			愛知		
9			北海道		※ブロック枠A ブロック1位の都道府県 手順④
10			東北		
11			関東		
12			北信越		
13			東海		
14			近畿		
15			中国		
16			四国		
17			九州		
18			北海道		※ブロック枠B（普及枠） ・参加できる都道府県を増やすよう配慮 ・各ブロックの判断により、1枠を種目別出場に替えることも可能 手順⑤
19			東北		
20			関東		
21			北信越		
22			東海		
23			近畿		
24			中国		
25			四国		
26			九州		
27			近畿		注1 手順⑥
28					注2 手順⑦
29					協会推薦
30			長野		注3 開催都道府県

2班（午後に競技）					
No.	選手名	学年	都道府県	学校名	解説
31	安井 栄絢	2	大阪	清風	※No.31～No.42は、全国総体個人1・2年生上位12名 手順①
32	谷田 智治	2	栃木	作新学院	
33	河合 芭空	2	大阪	清風	
34	藤原 瑛人	1	大阪	大体大浪商	
35	白岩 直翔	1	千葉	市立船橋	
36	内村 天	2	大阪	清風	
37	山崎 友貴	2	福井	鯖江	
38	會田 修成	2	埼玉	埼玉栄	
39	馬場 大河	2	千葉	市立船橋	
40	佐々木 寛斗	2	栃木	作新学院	
41	藤本 大翔	1	大阪	清風	
42	畠山 浩也	2	東京	日体大荏原	
43			大阪		※No.43～No.50は、全国総体上位8チームの都道府県 手順③
44			千葉		
45			栃木		
46			京都		
47			埼玉		
48			岡山		
49			東京		
50			福井		
51	毛利 智仁	2	神奈川	鶴見	※No.51～No.60は、全国総体個人1・2年生上位12名を除く、10名。但し、1・2年生は本人で、3年生は都道府県。 手順② 1・2年生を上位（No.51）から並べ、下位に3年生を並び替える。
52			千葉		
53			千葉		
54			大阪		
55			宮城		
56			茨城		
57			千葉		
58			岡山		
59			千葉		
60			東京		

注1 総体1位の都道府県の所属するブロックに与える。但し、参加できる都道府県を増やすように配慮すること。

注2 日本体操協会推薦選手としてNo.28～No.29.に2名の出場権を与え、2班で抽選する。推薦選手がいない場合には全国総体チーム成績2位、3位の県のブロックに各1枠を配分し、1班で抽選する。このブロック枠も参加できる都道府県を増やすように配慮すること。協会推薦があった場合、順次、資格No.28・29とNo.59・60と交替して、協会推薦選手を2班で抽選する。

注3 全ての手順を経て、No.30以外の上場枠が確定された後に開催都道府県枠を決定する。